

2022/9/20

【教養択一試験】

※小数点第一位を四捨五入しています。

	1級	2級					肢別					問題 選択率	
	No.	No.	科目		出題テーマ	正答	正答率	1	2	3	4		5
必須 問題	1	1	文章理解	現代文	主旨把握	5	85%	9%	0%	7%	0%	85%	－
	2	2	文章理解	現代文	主旨把握	3	91%	4%	2%	91%	2%	0%	－
	3	3	文章理解	現代文	文章整序	5	37%	9%	0%	22%	33%	37%	－
	-	4	文章理解	現代文	文章整序	5	40%	10%	50%	0%	0%	40%	
	4	5	文章理解	現代文	空欄補充	1	70%	70%	4%	7%	17%	2%	－
	-	6	文章理解	現代文	空欄補充	4	100%	0%	0%	0%	100%	0%	
	5	7	文章理解	英文	内容合致	5	59%	11%	7%	13%	11%	59%	－
	6	8	文章理解	英文	内容合致	4	48%	9%	22%	15%	48%	7%	－
	7	9	文章理解	英文	空欄補充	2	65%	13%	65%	13%	9%	0%	－
	8	10	文章理解	英文	ことわざ・慣用句	2	33%	11%	33%	22%	20%	15%	－
	9	11	数的処理	判断推理	リーグ戦	1	59%	59%	15%	15%	9%	2%	－
	10	12	数的処理	判断推理	暗号	1	24%	24%	15%	22%	17%	22%	－
	11	13	数的処理	判断推理	数量的順序	3	48%	11%	11%	48%	11%	20%	－
	12	14	数的処理	判断推理	数量推理	2	46%	22%	46%	11%	15%	7%	－
	13	15	数的処理	数的推理	図形の計量(面積)	2	26%	9%	26%	37%	22%	7%	－
	14	16	数的処理	数的推理	魔方陣(5×5)	3	74%	7%	7%	74%	7%	7%	－
	15	17	数的処理	数的推理	流水算	2	41%	15%	41%	28%	11%	4%	－
	16	18	数的処理	数的推理	濃度	2	37%	35%	37%	20%	9%	0%	－
	17	19	数的処理	資料解釈	実数の表	4	76%	4%	11%	2%	76%	7%	－
	18	20	数的処理	資料解釈	対前年増加率の表	5	30%	20%	33%	11%	7%	30%	－
	19	21	数的処理	資料解釈	実数のグラフ	3	54%	9%	13%	54%	15%	9%	－
	20	22	数的処理	資料解釈	総量と構成比のグラフ	5	35%	11%	4%	35%	15%	35%	－
	21	23	数的処理	空間把握	図形の個数	4	28%	24%	24%	24%	28%	0%	－
	22	24	数的処理	空間把握	平面パズル	3	48%	15%	20%	48%	15%	2%	－
	23	25	数的処理	空間把握	小立方体の個数	5	17%	9%	13%	20%	41%	17%	－
	24	26	数的処理	空間把握	軌跡の長さ	3	52%	9%	17%	52%	22%	0%	－
	25	27	時事	国際事情	本年3月の韓国大統領選挙	3	43%	15%	35%	43%	2%	4%	－
	26	28	時事	社会事情	岸田首相の所信表明演説	1	57%	57%	4%	26%	4%	9%	－
	27	29	時事	経済事情	東京証券取引所の再編	3	74%	15%	9%	74%	2%	0%	－
	28	30	時事	社会事情	本年4月の成年年齢の引下げ	4	61%	7%	4%	13%	61%	15%	－
	29	31	時事	社会事情	トンガ沖の海底火山噴火	4	39%	9%	17%	13%	39%	22%	－
	30	32	時事	社会事情	本年3月のアカデミー賞	1	46%	46%	20%	20%	11%	4%	－
選 択 問 題	31	33	社会科学	法律	人身の自由	5	68%	13%	0%	8%	11%	68%	83%
	32	34	社会科学	政治	平和主義と安全保障	3	52%	30%	0%	52%	0%	17%	50%
	33	35	社会科学	経済	国際収支	1	40%	40%	7%	20%	27%	7%	33%
	34	-	社会科学	経済	為替相場	3	48%	13%	9%	48%	17%	13%	64%
	35	36	社会科学	政治	公害問題と環境保全	4	39%	16%	23%	6%	39%	16%	67%
	36	37	人文科学	国語	ことわざ・慣用句	1	53%	53%	18%	6%	6%	18%	37%
	37	38	人文科学	日本史	桃山文化	5	17%	17%	0%	33%	33%	17%	13%
	38	39	人文科学	世界史	ルネサンス	5	63%	25%	0%	13%	0%	63%	17%
	39	40	人文科学	地理	工業の立地	2	76%	6%	76%	0%	18%	0%	37%
	40	-	人文科学	文芸	オペラ作品	4	20%	0%	20%	40%	20%	20%	14%
	41	41	自然科学	物理	熱	3	67%	0%	33%	67%	0%	0%	7%
	42	-	自然科学	物理	電気	4	33%	0%	33%	0%	33%	33%	8%
	43	42	自然科学	化学	pH	2	0%	33%	0%	67%	0%	0%	7%
	44	43	自然科学	生物	ヒトの神経系	1	22%	22%	28%	33%	17%	0%	39%
	45	44	自然科学	地学	宇宙の構造	4	50%	50%	0%	0%	50%	0%	9%

令和 4（2022）年度 本試験データリサーチ 特別区経験者 講評

◆数的処理

1 問題構成・出題テーマ

2022（令和 4）年度の教養試験の「数的処理」の問題構成は、例年通りの 16 題（判断推理 4 題、数的推理 4 題、資料解釈 4 題、空間把握 4 題）であり、出題分野、難易度とも例年と比べて大きな変化はなかった。

教養試験は 1 級職、2 級職とも 105 分で 35 題解答であるから、単純計算で 1 題 3 分で解かなければならない。（1 級職：45 題中 35 題解答、2 級職：44 題中 35 題解答）

＜経験者採用試験・数的処理 出題テーマ＞

	分野	R4	R3	R2	R1
1	判断推理	試合（リーグ戦）	試合（リーグ戦）	試合（リーグ戦）	トーナメント戦
2	判断推理	暗号	暗号	暗号	暗号
3	判断推理	数量的順序	位置	集合	集合・対応
4	判断推理	数量推理	円卓の位置関係	順位的順序関係	うそつき発言
5	数的推理	図形の計量（面積）	図形の計量（軌跡）	図形の計量	面積比
6	数的推理	魔方陣（5×5）	n 進法（n=9, 7, 5）	数列	線分の長さ
7	数的推理	流水算	場合の数（組合せ）	仕事算	確率
8	数的推理	濃度	比・連立方程式	位取り記数法	利益算
9	資料解釈	実数の表	実数の表	実数の表	実数の表
10	資料解釈	対前年増加率の表	対前年増加率の表	対前年増加率の表	対前年増加率の表
11	資料解釈	実数のグラフ	実数のグラフ	実数のグラフ	実数のグラフ
12	資料解釈	総量と構成比グラフ	総量と構成比グラフ	総量と構成比グラフ	総量と構成比グラフ
13	空間把握	図形の個数	立方体の展開図	一筆書き	折り紙
14	空間把握	平面パズル	平面パズル	平面パズル	平面パズル
15	空間把握	小立方体の個数	立体の切断（体積）	正十二面体の展開図	回転体（座標平面）
16	空間把握	軌跡の長さ	軌跡の形	中点の軌跡の形	軌跡の長さ

※問題番号 1 級職：No. 9～24、2 級職：No. 11～26

2 特別区経験者・事務職の合格倍率の推移

（特別区職員採用試験（選考）実施状況より）

年度	1 級職			2 級職		
	受験者数	最終合格数	合格倍率	受験者数	最終合格数	合格倍率
R4	1287			695		
R3	1302	172	7.6	762	59	12.9
R2	1247	155	8.0	809	57	14.2
R1	1601	173	9.3	870	61	14.3
H30	791	219	3.6	605	59	10.3
H29	960	202	4.8	652	57	11.4
H28	921	171	5.4	667	48	13.9

※H29 以前は 2 級職、3 級職

http://www.tokyo23city.or.jp/saiyo/ji_index.htm

※合格倍率＝1 次試験受験者数÷最終合格者数 と計算されている

※R4 の最終合格発表日 11 月 18 日（金）午前 10 時発表

3 R4「数的処理」の分析

①判断推理 「試合」・「暗号」・「数量的順序」・「数量推理」どれも数的処理の定番問題で十分な練習が必要

「試合」、「暗号」は指定席である。「試合」は、リーグ戦であるが、勝敗ではなく試合日程の組み合わせを問う問題で、表で検討すると初期段階で正解肢が見つかる問題であった。「暗号」は、毎年異なる法則が出題されるため対策が立てにくい。2 分間考えてもひらめかなければ捨てて次に進もう。ちなみに今年の問題は、色を表す英単語のアルファベットが 01～26 の 2 桁の数で逆順に表されるというもので解きやすかった（R3 は難しかった）。「数量的順序」は、両開き樹形図を書けば解きやすい問題であった。「数量推理」は、5 人の購入した果物とその個数の組み合わせに関する典型的な問題で、練習しておけば解ける問題であった。

②数的推理 「図形の計量」「魔方陣」「流水算」「濃度」基礎的な数学、学習効果が出やすい

「図形の計量」は、長方形の内部を井の字に区切り、内部にできた四角形の面積を求める問題であった。中央の長方形と4つの直角三角形の面積の関係の式を立てれば解ける問題である。「魔方陣(5×5)」は、対称性が利用できるタイプで、中央のマスに対称な2マスの和が26になることを利用すると解きやすかった。「流水算」は、川の上流から下流へ下った後、上流へ戻る途中でエンジンが停止しそのまま下流に流されるという問題であった。標準的な流水算の解法パターンを身に着けていれば十分に解ける問題であった。「濃度」は、一部をくみ出して同量の水を加える操作を2回繰り返す典型的な問題であった。

③資料解釈 「実数の表」「対前年増加率の表」「実数のグラフ」「総量と構成比のグラフ」

毎年このテーマで4題出題されており、いずれも典型的な資料解釈の問題である。R3年度は「実数のグラフ」の資料がやや複雑になり難化したが、今年度は、「実数の表」、「対前年増加率の表」、「実数のグラフ」、「総量と構成比のグラフ」いずれも標準的な難易度の問題であった。

④空間把握 「図形の個数」「平面パズル」「小立方体の個数」「軌跡の長さ」定番の解法パターンで対応可

「図形の個数」は、5×6マスの平面上で条件に合う正方形の個数を数える典型問題であった。「平面パズル」は、型紙を並べて正方形にする問題で、型紙を4枚並べると3×4の長方形ができることに気づけば容易に解けた。「小立方体の個数」は、ひな壇状に積み上げられた小立方体の串刺し問題で、スライス図にして丁寧に解けば時間はかかるが正解できた。「軌跡の長さ」は、正方形の辺上を長方形が回転移動するときの点の軌跡の長さを求める問題で、描かれる扇形の半径と中心角を丁寧に調べれば解ける問題であった。

＜R4 正答番号＞

	分野	テーマ	正答		分野	テーマ	正答
1	判断推理	リーグ戦	1	9	資料解釈	実数の表	4
2	判断推理	暗号	1	10	資料解釈	対前年増加率の表	5
3	判断推理	数量的順序	3	11	資料解釈	実数のグラフ	3
4	判断推理	数量推理	2	12	資料解釈	総量と構成比のグラフ	5
5	数的推理	図形の計量(面積)	2	13	空間把握	図形の個数	4
6	数的推理	魔方陣(5×5)	3	14	空間把握	平面パズル	3
7	数的推理	流水算	2	15	空間把握	小立方体の個数	5
8	数的推理	濃度	2	16	空間把握	軌跡の長さ	3

※問題番号 1級職：No. 9～24、2級職：No. 11～26

4 「数的処理」の傾向と対策

特別区経験者採用試験は例年、問題構成、出題テーマとも大きな変化がないため対策を立てやすい。頻出テーマは一般的な公務員試験と同様である。まずは、50%(8題)以上の正解を目標として、頻出分野の類題を数多く練習し、解法パターンを身につけよう。特別区Ⅰ類(大卒程度)試験と出題範囲は同じだが難易度はそれより低めであるため、高卒程度公務員試験レベルの過去問題でも対策は可能だが、Ⅰ類の過去問を解くことでよりレベルの高い対策ができる。

＜特別区経験者採用試験 頻出単元＞

①判断推理 ・試合 ・暗号 ・集合 ・順序関係 ・位置関係 ・対応関係

いわゆる公務員試験の定番問題である。短時間に解くには、数学とは異なる独特な解き方を身につける必要がある。それぞれのテーマの類題を繰り返し解いて、解法パターンを十分に身に着けておくことが必要である。具体的には、条件整理、対応表、場合分けなどが解法のカギである。

②数的推理 ・図形の計量 ・記数法 ・n進法 ・数列 ・場合の数 ・確率 ・整数

中学～高校の基礎的な数学の問題が中心である。テーマは多様だが、これまでに学習した数学の復習であるから、短期間で学習効果が出やすい。また、複雑な条件整理が不要で、公式を知っていれば短時間で解ける問題が多いので、ここで正解数と時間を稼ぎたい。

③資料解釈 ・実数の表 ・対前年増加率の表 ・実数のグラフ ・総量と構成比のグラフ

毎年このテーマで4題出題されている。Ⅰ類の問題と比較すれば解きやすい問題ではあるが、それでも3分で解ききるには相当の練習が必要である。まずは様々な問題を解いて、資料問題で使用する用語と資料の読み方に慣れる必要がある。また、短時間で解くには、割合の計算結果の予測や、分数の大小比較などのテクニックが必要である。

④空間把握 ・展開図 ・平面パズル ・立体の切断 ・回転体 ・図形の移動と軌跡

公務員試験ならではの、いわゆる図形パズル問題である。短時間で解くための解法テクニックがあり、類題を数多く解いて解法パターンを身につけよう。選択肢の見極め方がポイントになる。

⑤ 足きり試験であるが十分な対策が必要

教養試験はいわゆる「足きり」であるため、高得点は不要で一定の基準を満たせばよいとされて考えがちであるが、令和以降、受験者数が増加し倍率が上がっており、また多くの受験生が出題傾向を研究し十分な対策を立てる可能性が高いことから「足きりライン」も高くなっている可能性がある。合格には、十分な対策が必要である。

特別区（東京 23 区）職員 経験者 採用試験・選考案内 より抜粋

- ◆教養試験を実施する試験・選考区分においては、教養試験の成績が一定点に達しない場合、職務経験論文及び課題式論文は採点の対象となりません。
- ◆第 1 次試験・選考の合格者は、論文の総合成績により決定します。

◆時事

細かい内容も出題されているが、6 問中 5 問は組み合わせ問題になっており、解きやすくする工夫はされていた。

【1 級 No. 25・2 級 No.27】の韓国大統領選挙は、唯一の 5 択であり細かい内容もあるが、最も報道された内容を素直に選べば正解肢にたどり着くことができる。

【1 級 No. 26・2 級 No. 28】の所信表明演説は紛らわしいものもあるが、C は有名なので C が含まれている選択肢 1 と 5 を比較し、E は明らかに違うということで選択肢 1 が選べるだろう。

【1 級 No. 27・2 級 No. 29】の東京証券取引所は、一見して A が正しく、あとは B～D から 1 つを選ぶ構成になっている。このうち D はかなり報道されていた内容であることから、肢 3 を選べたと思われる。

【1 級 No. 28・2 級 No.30】の成年年齢の引下げは出題可能性が高かったテーマであり、社会事情の講義を受けていれば（一部のコース除く）正答を導きだせただろう。

【1 級 No. 29・2 級 No.31】のトンガ沖噴火は、A は「国内の津波警報の発表は 2011 年 3 月以来」、D は「気温を上昇させる作用がある二酸化硫黄」という箇所ですり誤りに気づけるため、消去法で肢 4 が選べる。

【1 級 No. 30・2 級 No.32】のアカデミー賞は、A と B はわかるとして、C が正誤を分けたと思われる。

全体として 6 問中 4 問程度は取っておきたい内容であった。

◆職務経験論文試験

お疲れさまでした。職務経験・課題式とも良問だったと思います。終わったばかりですが、一次論文は書きっぱなしにせず、振り返っておくと面接対策に繋がります。書くか話すかのアウトプットは違っても面接官が考える共通点があるからです。以下、着眼点と回答のポイントです。なお、『◇回答のポイント』は、すべてを書かなければならないという意味ではなく数点には触れて欲しいという趣旨です。

◆【職務経験論文 1,200 字以上 1,500 字程度】

問題 職場の活性化について、あなたのこれまでの職務経験を簡潔に述べてから、その経験を踏まえて採用区分における立場として論じてください。

◇着眼点

オーソドックスな問題ですが、コロナの影響で民間中心にテレワークが進むなど新しい状況もあるので、改めて職場活性化の意義や取り組みについて論じて欲しいという出題です。特別区では社会経済や区民意識が変化する中で、新たな政策課題が次々と生起しています。限られた財源や人員・組織のもとでそれらに的確に対応するためのカギを握るのが職場の活性化です。広い視野と新しい発想で成果を出す職場づくりを進めて区民サービスの向上をめざすことが求められています。

◆回答のポイント

○職場の活性化とは何か、その意義や活性化している職場とはどんな職場かなどについて、具体的な民間経験をもとに書いてください。民間企業なら職場が活性化すれば社員が前向きに生産性の高い業務を行い、会社の業績も高まります。区政では職員が生き生きと働く職場であれば、政策課題を解決して区民に喜ばれる区政が実現できます。なぜ職場の活性化が求められるのか理由と取り組みを論じてください。

○問題文に「これまでの職場経験を簡潔に述べてから」とあるので、まず民間での職場活性化の経験を述べ、そこで培ったものを特別区における職場の活性化にこのように活用していきたいと構成すると書きやすいでしょう。

○活性化している職場とは、全員が目標やビジョンを共有している、モチベーションが高い、コミュニケーションが活発な職場などいろいろ書けます。

○その上で、どんな小さな取組みでも「具体的な形にしていこうとする姿勢を大切にする」職場風土があるなどオリジナルな書き方をすれば加点評価です。異論、反論は歓迎、冷ややかな眼や沈黙がはびこる職場が一番ダメです。

○具体的な取組みは、まさに民間経験の発揮しどころです。職場のミッションを一人ひとり

共有化するためミーティングのやり方、積極的な職場内ジョブローテーション、マルチ担当制やコミュニケーション・ツールの工夫等々自由に民間感覚をアピールしてください。参考までに、私は現役時代、職場研修で策定した政策提案を首脳部にプレゼンし、実際に予算化できて実現した経験があり、職場のモチベーションが高まりました。

○採用区分における立場として論ずる。1級職の場合：係員の業務といっても1級職3年目相当の採用なので、新卒学生と同じでは物足りません。職場の活性化は究極的には一人ひとりの意欲に帰着するとしても、メンバーとの協力や働きかけについての工夫も書いてください。2級職の場合：係長級への昇任を予定している職なので、職場風土の改善や仕組みづくりに取り組むなどに言及したいところです。

◇プラスα

○職員募集案内の求める人材像『自ら考え行動する人材』に絡めて論述してもいいですね。職員一人ひとりが自ら考え行動することで職場が活性化され、特別区の未来をつくっていくというようにです。

◆課題式論文試験

◆【課題式論文 2題中1題選択 1,200字以上1,500字程度】

課題式論文は区政の行政課題を『素材』として、理解力、論理的思考力、文章力などを評価するものです。行政課題はあくまで『素材』なので、専門的な政策知識や細かな既存施策を問うものではありません。この点を理解すれば自信を持って書けたと思います。

◆第1問 シティプロモーションについて

◇着眼点

『シティプロモーション』とは都市の魅力をアピールし、ブランディングを行って自治体や地域の知名度を向上させるための取組みです。特別区でも区の魅力向上や情報発信などさまざまな取組みをシティプロモーション事業と位置付けで展開している区や専任組織を設けている区もあります。用語を知らない方もいたかもしれませんが、出題者は民間感覚を存分にアピールできる民間経験者採用に格好のテーマと考えたのではないのでしょうか。

◇回答のポイント

○シティプロモーションが自治体経営戦略だという視点から書き起こすといいでしょう。その区の資源と地域特性をアピールすることで、企業や大学誘致、来街者、観光客、転入者を増やす等々多角的なプロジェクト手法であることに言及してください。

○経済効果や文化振興、街づくり、観光資源開発などいろいろアプローチを盛り込めますが、突き詰めれば区民から住んでよかった、住み続けたいと思ってもらえる区を目指すという政策効果があります。都市間競争を勝ち抜くという視点もいいですね。

○シティプロモーションは、区民、区民団体、企業、大学、NPO等との協働で進められることも多く、協働型プロジェクトとして区民等との一体感の創出効果を期待できるという視点で書くのも有効です。

○具体的な取組み

イメージ戦略としてオリジナルグッズやキャッチコピー、ロゴマーク、サウンドロゴを活用して情報発信する。ダウンロードして区民等も自由に使えるようにする。情報発信は全国連携プロジェクトともつながります。「全国シティプロモーション・サミット」も行われました。外国の交流都市等に向けてウィズ・コロナをにらみインバウンド効果をねらう取組みもあります。またWeb会議用バーチャル背景、VR観光ガイドなどもコロナ禍で盛んに取り組みられました。関連して、公共施設のネーミングライツ、フィルム・コミッション（撮影場所誘致など）の取組みによるイメージアップ作戦もあります。

また、まちづくりや政策展開の基本理念として簡潔で分かりやすいキャッチコピーなどを活用することがあります。基本構想や基本計画・総合計画などの政策目標を区民と共有して実現する手法として活用するものです。

◇プラスα

本問は、民間感覚を存分にアピールできる出題です。特に、民間企業でIRや広報宣伝部門、メディア、旅行業等々の経験者にとっては高得点を狙える出題だったと思います。培った職務経験を織込み、協働に絡めて企業・団体等とのコーディネーター機能を果たしたいなどと論じれば迫力ある答案が書けたのではないのでしょうか。

◆第2問 複雑化・多様化する区民ニーズへの対応について

◇着眼点

社会経済や区民意識の変化の中で複雑化・多様化する区民ニーズに対応し、区民の幅広い意見を区政運営に反映させるためには、区民ニーズの的確な把握と区政に参画する機会の拡充が重要です。

◇回答のポイント

○区政運営の目的は区民福祉の向上です。このように地方自治の基本原則から説き起こすと論文が引き締まります。そのためにはまず区民ニーズの的確な把握が求められます。

○そこでまず、広報公聴機能の充実によって、区民要望やニーズの把握に最大限努めることに論及してください。手法としてはタウンミーティングや区民アンケート、パブリックコメントなどを挙げるほか、SNSの一層の活用などを書いた方も多かったでしょう。最近ではオンラインによる応答型サービスの導入でスピード感重視の取組みも注目されています。

○区民ニーズに的確に対応して区民要望を実現していくには、区だけではなく多様な主体間の協働・連携をさらに促進していくことが必要です。協働に論及することも重要なポイントです。その際、協働とは単に行政を補完するものではなく、より積極的に区民本位の区政を実現する住民自治本来のあり方だといった本質的意義を打ち出してください。

○ICTなどの先端技術やマイナンバーカードの活用により、区政運営のデジタル化などを進め、来庁不要なサービスの提供などで区民の利便性向上を実現するもいいですね。

○一方、ますます複雑化・多様化する区民ニーズを、要望のままに直ちにすべて実現することは不可能であり、適切でもありません。限られた財源と組織・人員のもとでは選択と集中や優先順位付けをする必要があります。その際、行政評価など透明性ある手法で説明責任を尽くし区民の納得感を得るようにすることが大切です。事案によっては役割を終えた区民サービスの見直しや直ぐできないことは説明を尽くして年次計画で行うなどです。この論点を書けたかどうかは評価を大きく左右すると言えるでしょう。

○次に、区民ニーズに対応し説明責任を果たすには、区民に信頼され実行力のある職員と新たな課題に柔軟に取り組める行政組織が必要です。この点を『私は区民要望に応え区民に貢献していけるよう、区民から信頼される職員を目指して他部門や多くの職員と連携するとともに、不断に自己研鑽に励む決意です。』など自信を込めて書き切ってください。

◇プラスα

○『地方自治の基本や原理原則』について、予め準備しておく論文でも面接でも役立ちます。自治体運営の目的は何か、住民自治や協働の本質やその意義は何かなど基本的な理念・用語を整理しておきましょう。骨太な論文が書けます。

【回答者特典】特別区経験者面接の特徴と直前対策

◆全体を通して

簡潔に答えられるようにしましょう。答えの項目ごとのキーワードに優先順位を付けておくと効果的です。理念的なことには具体的なエピソードを、エピソードを挙げるときは理念や考え方を言えるように。説得力が増します。

◆面接カード（特別区の職務経歴書）でイメージ・トレーニング

ポイントは面接カードの繰返しに終始しないこと。答える内容は同じでも、聞かれ方に合わせてプラス・アルファしたり角度を変えたりして柔軟に答えることです。

【項目1 特別区職員を志望する理由など】

○人口が多いとか大都市だとか基礎自治体で住民に身近な仕事ができるからだけでなく、特別区政への共感や特別区でしかできないことを挙げるなどの答え方を考えてください。例えば、災害対策では区民の暮らしを守るとともに、都と連携しながら首都機能を守るという役割は首都東京の中心を担う基礎自治体特別区ならではの事です。先進的な取り組みをしているからなら具体的な施策を挙げられるように。『転職』を決断した理由はポジティブに言えるようにしておきましょう。

○携わりたい職務とその職務を通じて実現したいこと。具体的に言えるように。地域経済の振興を挙げるなら、特別区の地域経済を支える中小企業の経営力強化支援、創業や企業連携の支援とかというように。実現したいことでは、災害対策をやりたいなら、実現したいことは区民が安全と安心を体感できる地域社会というように都市像の形で言うと分かりやすくなります。さらに大きく、区民にとって住んでよかった、住み続けたいと思える特別区の実現でもいいかも知れません。どんな区なら区民が住み続けたいのかも考えてみてください。

【項目2 自ら考え行動する人材など】

○具体的で説得力のあるエピソードで説明しましょう。特に、自主的に考え取り組んだことを活き活きとしたエピソードで。もし会社の方針や上司の指示を遂行したという場合でも、そこにご自身独自の工夫や行動があると言えるように。

【項目3 失敗の許されない状況など】

○なぜ、失敗が許されない状況だったか。どういう状態になったら解決と言えるのか。

【項目4 チーム、指導育成など】

○1級職 チーム（組織）として達成したことなど

チームにおける役割をどう考えたから、こう行動をして貢献できた。困難や問題点があったならどう克服したかを具体的に言えるように。

○2・3級職 部下や後輩の指導・育成

主任や係長級として入庁するので、管理監督者としてのマネジメントの視点を織込んでください。現職等では部下がいなくても後輩の指導・育成をミッションとして理解していることを表現しましょう。

◆職務経験分野の質問対策

民間職務経験の内容、培ったもの、それを特別区の公務にどう活かせるかを『簡潔に』話せるように。どう活かすでは、携わりたい仕事を具体的に挙げられるように。区民等との協働によるまちづくりなら、区民や関係団体等との信頼関係や良好なパートナーシップの構築が求められるので、民間経験から説明力、調整力、コーディネート能力などの強みを習得してきたので、それを活かしていけるなどです。

◆行政課題に関する質問対策

すべての行政課題について準備できないので、携わりたい仕事（なるべく複数）に関連する課題や取り組みを優先します。

具体的な調べ方としては、希望区の長期計画（概要版でOK）や施政方針を読む。その際、長期計画などでは体系図のようなものを見ておくと整理できます。

もうひとつは、特別区協議会発行の23区共同広報紙《区政会館だより》です。HPで最新号からバックナンバーまで読めます。特別区の重要課題や最新テーマを効率よく整理できます。児童相談所の設置促進と相談体制の強化、首都直下型地震や大規模水害等における広域的対策、高校生等医療費助成事業、全国連携プロジェクトなどが並んでいます。